

西日本ジェイアールバス園福線の存続に係る要望書

当該路線は、国鉄バス路線として全線が開通して以降、昭和63年には、西日本ジェイアールバス株式会社にその運行が引き継がれ、今日まで永きにわたり、地域住民等の生活に欠かすことのできない大切な移動手段として利用されており、他に公共的な基幹としての交通手段を持たない沿線地域にとって、まさに当該路線は、重要な役割を持つ基幹交通であります。

そのような状況にあつて、西日本ジェイアールバス株式会社は、厳しい経営状況等の理由から運行本数を減便し、さらには、園福線の運行撤退をこの度表明しました。このことは、これまで通勤、通学などの交通手段として利用されてきた地域住民の方々に対し、この上ない困惑と不安を与えるものであります。

また、本町には、唯一の高校である京都府立須知高等学校があり、町内はもとより、町外から通学、通勤されている生徒や教員にとっても大変不便な状況になることは必至であるとともに、今後当該路線が廃線されることになれば、学校自体の存続にかかわる危機的な状況をも招きかねません。

つきましては、現状を維持することで、これまでどおり利用者の皆様の利便性や安全性を確保するため、下記の事項について強く要望します。

記

- 1 園福線の運行継続について、西日本ジェイアールバス株式会社に交渉し地域住民等に影響を与えないよう、対策を早急に講じること
- 1 運行継続が困難な場合は、本町及び関係市、また京都府と連携し代替となる交通手段を講じること、これまでと同様に地域住民等の利便性を確実に確保すること

令和4年12月26日

京丹波町長 畠中 源一 様

京丹波町議会議長 梅原 好範